



# インストール

---

- ・ [インストレーションタスク概要 \(1 ページ\)](#)

## インストレーションタスク概要

Microsoft Hyper-V のインストールは次の手順で構成されます。

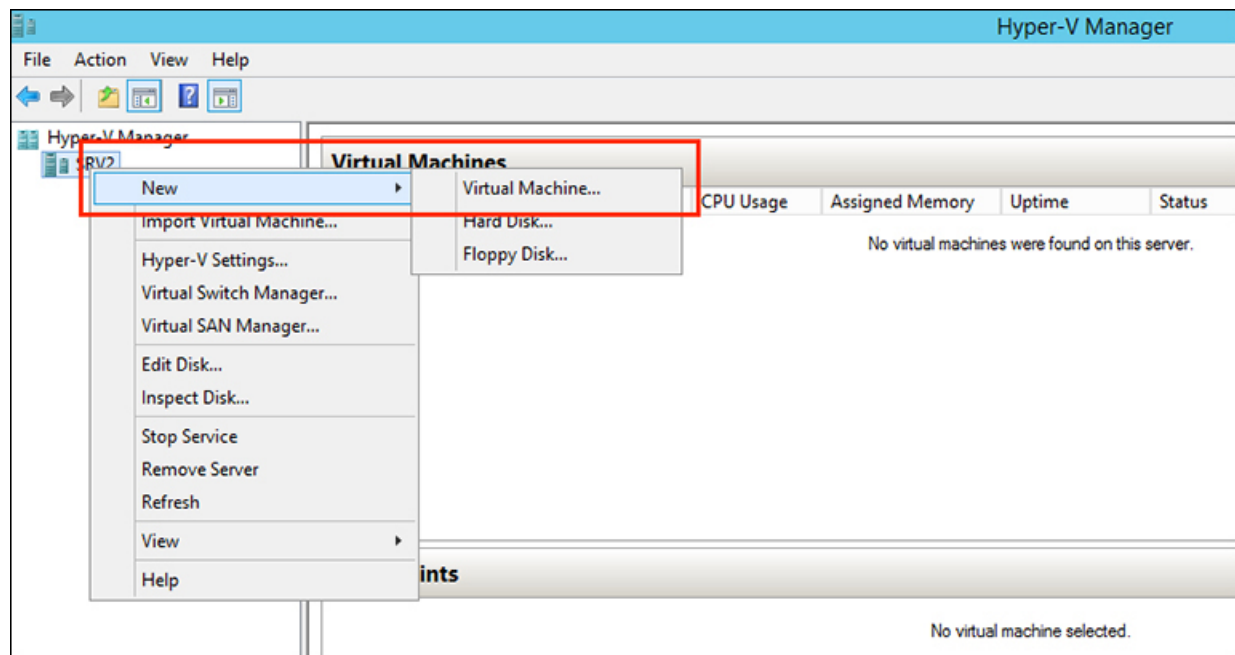
### HX データ プラットフォーム インストーラの展開

**Microsoft Hyper-V Manager** を使用して HX Data Platform インストーラ 展開し、HX データ プラットフォーム インストーラ 仮想マシンを作成します。

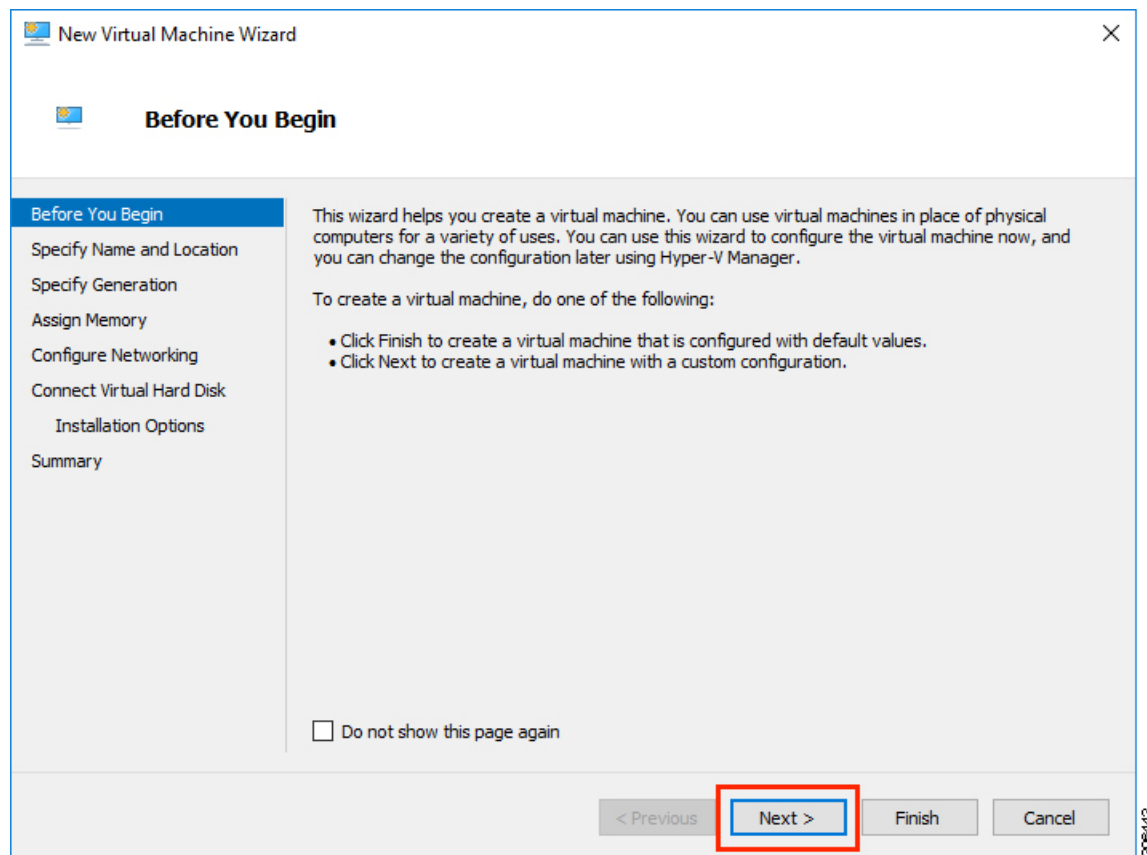
#### 手順

---

- ステップ 1** Cisco ソフトウェア ダウンロード サイトから HX Data Platform インストーラ .vhdx zip 圧縮ファイルを検索してダウンロードします (例 : **Cisco-HX-Data-Platform-Installer-v4.0.1b-33133-hyperv.vhdx.zip**)
- ステップ 2** ローカル コンピュータに zip 圧縮フォルダを解答し、.vhdx ファイルを HX データ プラットフォーム インストーラをホストする Hyper-V ホストにコピーします。例 :  
`\\hyp-v-host01\...\HX-Installer\Cisco-HX-Data-Platform-Installer-v4.0.1b-33133-hyperv.vhdx`
- ステップ 3** **Hyper-V Manager** で、Hyper-V サーバのいずれかに移動します。
- ステップ 4** Hyper-V サーバを選択し、右クリックして、**[新規>仮想マシンを作成]**を選択します。Hyper-V Manager 新規仮想マシン ウィザードが表示されます。

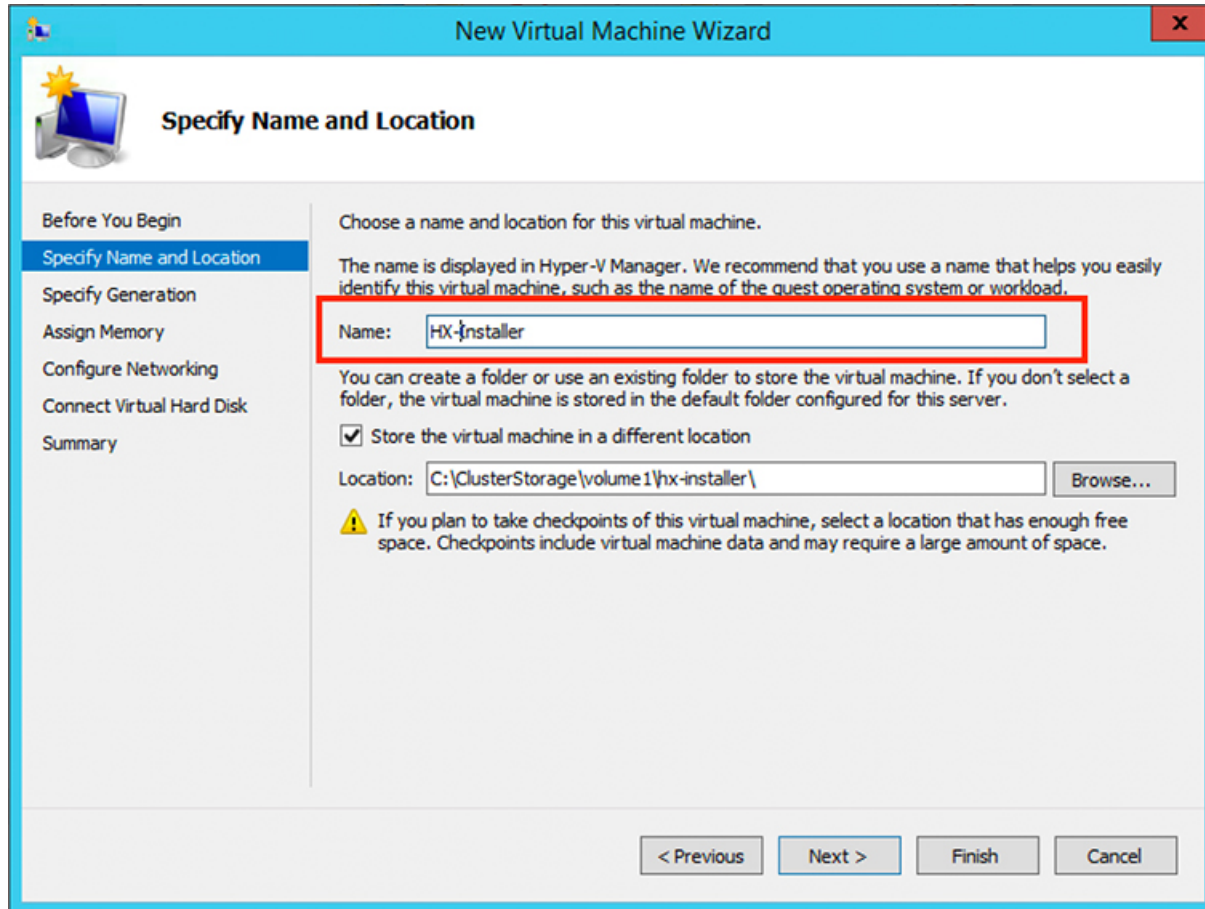


ステップ5 [始める前に] ページで、[次へ] をクリックします。

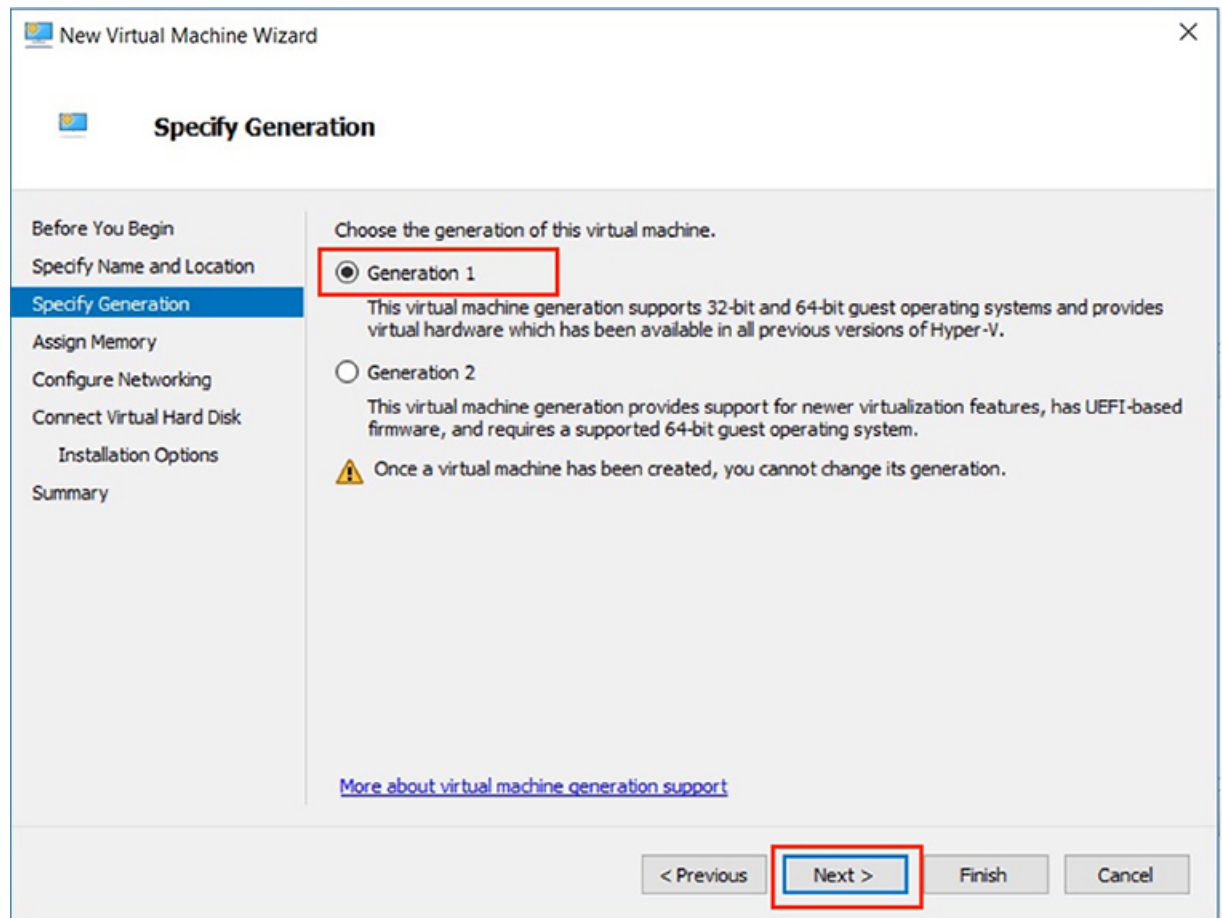


**ステップ 6** [名前とロケーションの指定] ページで、仮想マシン設定ファイルを保存する仮想マシンの名前とロケーションを入力します。[Next] をクリックします。

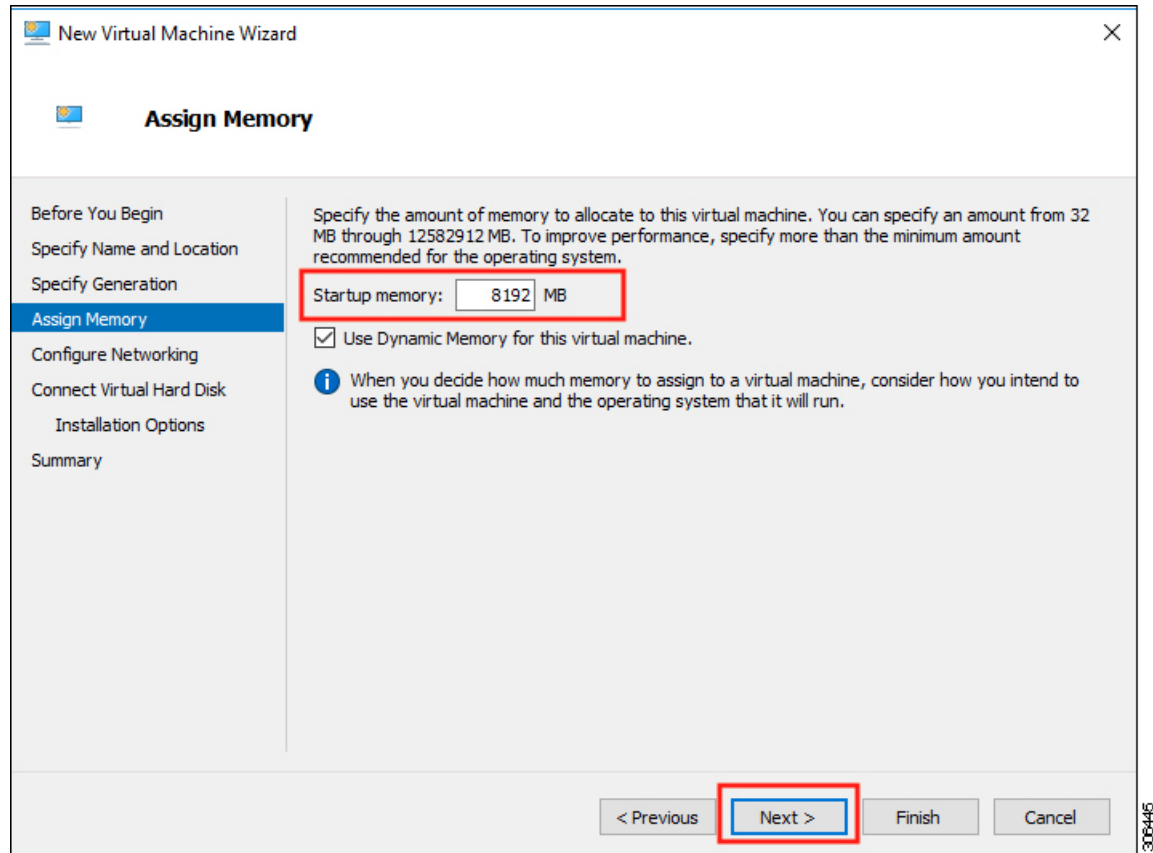
(注) 最適なのは、VM を .vhdx ファイルに保管することです。



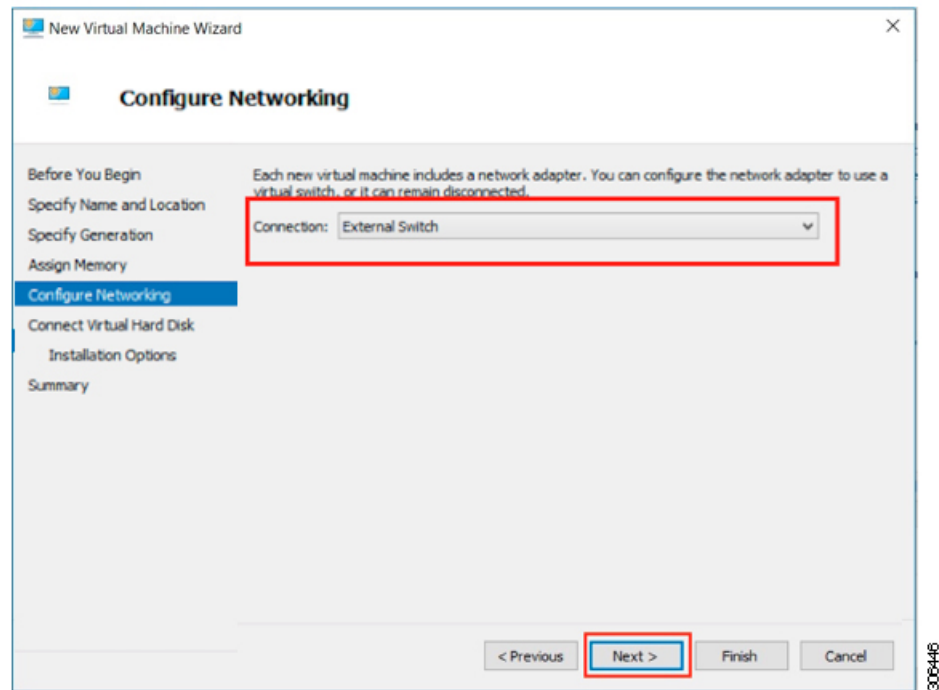
**ステップ 7** [世代の指定] ページで [第 1 世代] を選択します。[次へ (Next)] をクリックします。第二世代を選択する場合、VM が起動しない可能性があります。



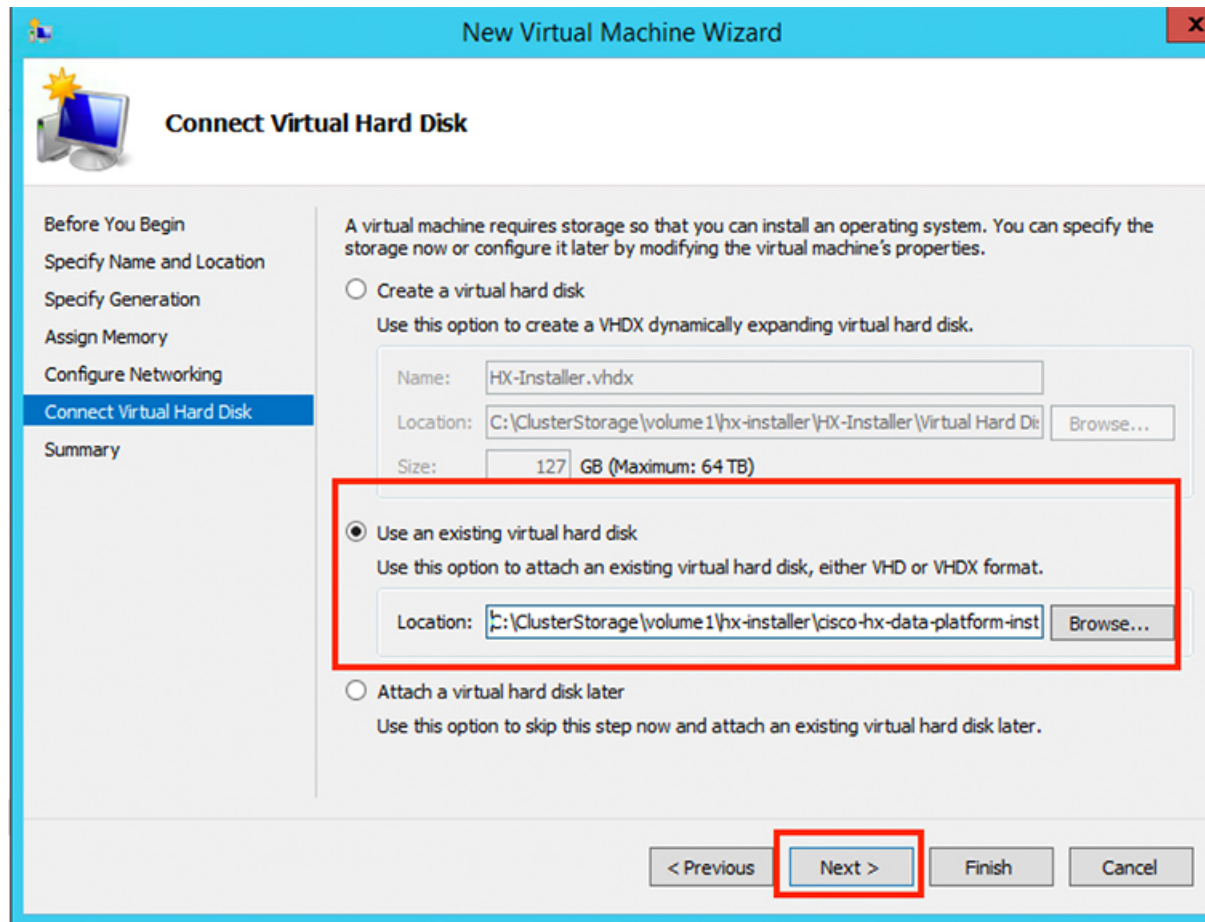
ステップ 8 [メモリの割り当て] ページで、起動時のメモリの値を **4096 MB** に設定します。[次へ (Next)] をクリックします。



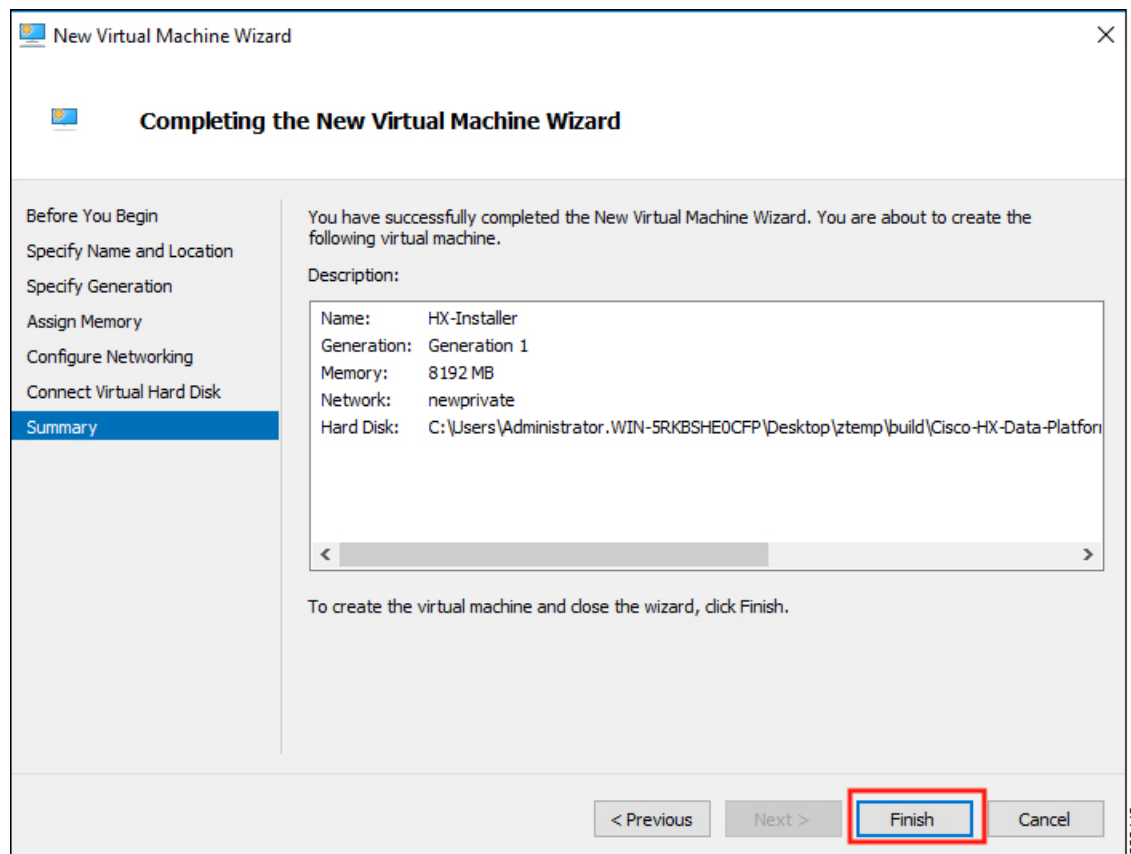
**ステップ 9** [ネットワーク設定] ページで、既存の仮想スイッチのリストから使用する仮想マシンのネットワーク接続を選択します。[次へ (Next)] をクリックします。



**ステップ 10** [仮想ハードディスクの接続] ページで [既存の仮想ハードディスクを使用する] を選択し、.vhdx ファイルが含まれる Hyper-V ホストでフォルダを参照します。[次へ (Next)] をクリックします。



**ステップ 11** [概要] ページで、表示されるオプションのリストが正しいことを確認します。[終了 (Finish)] をクリックします。



**ステップ 12** VM の作成後は、電源を入れて GUI を起動します。

- a) VM を右クリックして [接続] を選択します。
- b) [アクション > 開始 (Ctrl + S)] を選択します。
- c) VM を起動したら、URL (VM の IP アドレス) をメモします。インストール時に以下の手順に含まれるこの情報が必要です。

## HX Data Platform インストーラでのスタティック IP アドレスの設定

VM のデフォルトのインストールでは、HX インストーラが DHCP を使用して IP アドレスを自動的に取得します。起動するたびに同じ IP アドレスが設定されるようにするため、VM に静的 IP アドレスを割り当てることができます。

静的 IP アドレスを使用してネットワーク インターフェイス (/etc/network/interfaces) を構成するには、次のコマンドを使用します。ネットワークに合わせて関連する設定を変更してください。





(注) ネットワークのガイドラインは次のとおりです。

- Active Directory (AD) に接続できる必要があります。
- Windows インストール用に Hyper-V インストーラから Hyper-V ホストに OS メディアをストリーミングするには、ネットワークを使用します。

#### 手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	次のコマンドを実行します。 <b>ifdown eth0</b> .	<b>警告</b> この手順により、静的 IP 設定を実行する前にインターフェイスがダウンしていることを確認します。そうしないと、インストールプロセス中に TAC のサポートが必要になる問題が発生する可能性があります。
ステップ 2	お気に入りのエディタを使用して、環境に合わせて /etc/network/eth0.interface ファイルを編集します。たとえば、次の行をファイルに追加します。	<pre> auto eth0 # eth0 interface iface eth0 inet static # configures static IP for the eth0 interface metric 100 address XX.XX.XX.XX # Static IP address fr the installer VM netmask 255.255.0.0 # netmask for the Static IP address gateway XX.XX.X.X # gateway for the Static IP address dns-nameservers XX.XX.X.XXX #DNS name servers used by the HX installer dns-search &lt;DNS_Search_Name&gt;.local # DNS search domain name used by the installer </pre>
ステップ 3	変更を反映するため、ファイルを保存します。	
ステップ 4	次のコマンドを実行します。 <b>ifup eth0</b> .	
ステップ 5	インストーラ VM を再起動します。	

## Hyper-V クラスタの展開

Cisco HX Data Platform のインストーラをダウンロードして展開したら、次の手順を実行して Hyper-V クラスタを展開します。この手順の一部として、次のサブタスクも実行します。

- Cisco UCS Manager の設定

- Hyper-V のインストール
- Windows OS のインストール
- 初期のクラスタの作成

### 始める前に

Hyper-V クラスタを展開する前に、**Windows 2016 Datacenter Edition の ISO** または **Windows Server 2019 Datacenter-Desktop Experience ISO** が使用可能であることを確認してください。

### 手順

**ステップ 1** HX Data Platform のインストーラを起動してログインします。

**ステップ 2** [ワークフローの選択 (Select a Workflow) ] 画面で、[HyperFlex (FI) によるクラスタ作成 (Cluster Creation with HyperFlex (FI)) ] をクリックし、UCS Manager に関する情報、ドメイン情報、およびハイパーバイザのクレデンシャルを入力します。

フィールド	説明	値の例
<b>[UCS Manager Credentials]</b>		
UCS Manager Host Name	UCS Manager の FQDN または IP アドレス。	eng.fi356.abc.com
UCS Manager User Name	UCS Manager の管理権限を持つ管理者またはユーザーの名前。	admin
Password	UCS Manager のパスワード。	Xyz\$1234
<b>ドメイン情報</b>		
ドメイン名 (Domain Name)	HyperFlex クラスタの Active Directory ドメイン名。	contoso.com

フィールド	説明	値の例
HX サービスアカウント	<p>プレインストール フェーズで作成された HX サービス アカウント。</p> <p>HX サービスアカウントには、クラスタに使用される組織単位への完全なアクセス権が必要です。</p> <p>(注) Active Directory ポリシーによって、HX サービス アカウントが、<code> smb </code>名前空間用に作成されたコンピュータ オブジェクトでの「<code> servicePrincipalName </code>の書き込み」の有効な権限を持つことを確認してください。</p>	hxadmin
[パスワード (Password) ]	HX サービス アカウントのパスワード。	Cisco 123
<b>制限された委任</b>		
[HX サービスアカウント (HX Service Account) ]	制約付き委任 (Constrained Delegation) に必要です。ユーザはドメイン管理者である必要があります。	sphxadmin
[パスワード (Password) ]	HX サービス アカウントのパスワード。	
制約付き委任 (Constrained Delegation) を今すぐ設定するか、または制約付き委任 (Constrained Delegation) を後から設定します	<p>次のいずれかのチェックボックスを選択します。</p> <p>制約付き委任 (Constrained Delegation) は、VM ライブ マイグレーションに必要です。</p>	

次のスクリーンショットを参照して、このページのフィールドに入力してください。

The screenshot shows the 'HyperFlex Installer' window at the 'Configuration' step. The main configuration area is on the left, and a 'Configuration' sidebar is on the right. The 'Continue' button at the bottom right is highlighted with a red box.

**UCS Manager Credentials**

- UCS Manager Host Name: eng-li62.eng.storvisor.com
- UCS Manager User Name: admin
- Password: [masked]

**Domain Information**

- Domain Name: cloud.local
- DNS Server(s): 10.64.16.91
- HX Service Account: sphxadmin
- Password: [masked]
- Configure Constrained Delegation now (recommended)  Configure Constrained Delegation later
- Use HX Service Account
- Domain Administrator User Name: spcduser
- Password: [masked]

**Advanced Attributes (optional)**

- Domain Controller: 10.64.16.91
- Organization Unit: OU=hyperflex nodes,OU=shypalak,OU=

**Configuration Sidebar**

- Drag and drop configuration files here or
- Select a File

**Navigation**

- < Back
- Continue

HX Data Platform のインストーラは、UCS Manager に接続し、HX クラスタの関連するサーバを取得して一覧表示します。また、HX Data Platform のインストーラは、UCS ファームウェアを検証します。

[ 続行 (Continue) ] をクリックします。

**ステップ 3** [サーバの選択 (Server Selection)] ページの [関連あり (Associated)] タブと [関連なし (Unassociated)] タブで、すべての関連付けられているサーバと関連付けられていないサーバをそれぞれ確認します。

[関連なし (Unassociated)] タブでは、既存のクラスタに任意のノードを追加できます。

[関連あり (Associated)] タブでは、既存のクラスタからサーバの関連付けを解除できます。

次のスクリーンショットを参照して、このページのフィールドに入力してください。

The screenshot displays the 'HyperFlex Installer' interface. The 'Server Selection' tab is active, showing a table of servers. A red box highlights the 'Unassociated (1)' tab. The table contains one entry for 'Server 16' with status 'unassociated'. The 'Continue' button at the bottom right is also highlighted with a red box.

Server Name	Status	Model	Serial	Assoc State	Actions
Server 16	unassociated	HX220C-M5SX	WZP22130EN7	none	none

[ 続行 (Continue) ] をクリックします。

**ステップ 4 [UCSMの設定 (UCSM Configuration)]** ページで、次のガイダンスに従って、VLAN 設定、MAC プール、および Cisco IMC アクセス管理 (アウトオブバンドまたはインバンド) のサブセクションに入力します。

- a) [VLANの設定 (VLAN Configuration)] : 4つ以上のVLANが必要です。また、各VLANは異なるIPサブネット上にあり、ファブリックインターコネクトから接続しているアップリンクスイッチまで拡張されている必要があります。これにより、プライマリファブリックインターコネクト (ファブリック A) から下位のファブリックインターコネクト (ファブリック B) にトラフィックを確実に転送できるようになります。

この画面に値を入力するには、次の表と図を参考にしてください。

VLAN 名の例	VLAN ID の例	使用方法
hx-inband-mgmt	10	Hyper-V および HyperFlex VM の管理
hx-storage-data	20	HyperFlex のストレージトラフィック
hx-livemigrate	30	Hyper-V ライブ マイグレーション ネットワーク
vm-network	100,101	VM ゲスト ネットワーク

### VLAN Configuration

**VLAN for Hypervisor and HyperFlex management**

VLAN Name	VLAN ID
hx-inband-mgmt	

**VLAN for HyperFlex storage traffic**

VLAN Name	VLAN ID
hx-storage-data	

**VLAN for VM Live Migration**

VLAN Name	VLAN ID
hx-livemigrate	

**VLAN for VM Network**

VLAN Name	VLAN ID(s)
vm-network	

(注) VLAN1 を使用すると、分離レイヤ2によって問題が発生する可能性があります。

vm-network には、複数の VLAN をカンマ区切りのリストとして追加できます。

- b) [MACプール (MAC Pool)] : 次の表と図を使用して、残りのネットワーク設定の指定を完了します。

フィールド	説明	値の例
MAC プールのプレフィックス	HX クラスタの MAC アドレス プールは、HX のインストーラによって UCS Manager で設定されます。MAC アドレス プールがレイヤ 2 環境の他の場所で使用されていないことを確認します。	00:25:b5:xx
IP ブロック	HyperFlex ノードのアウトオブバンド管理に使用される IP アドレスの範囲。	10.193.211.124-127
サブネット マスク (Subnet Mask)	アウトオブバンドネットワークのサブネット マスク。	255.255.0.0
Gateway	アウトオブバンドネットワークのゲートウェイアドレス。	10.193.0.1

**MAC Pool**

MAC Pool Prefix



---

'hx-ext-mgmt' IP Pool for Out-of-band CIMC

IP Blocks                      Subnet Mask                      Gateway

**ステップ 5** 外部ストレージを追加する場合は、次のガイダンスを使用します。

- a) 以下のフィールドに記入して **iSCSI ストレージ** を設定します。

フィールド	説明
[iSCSI ストレージの有効化] チェックボックス	チェックボックスをオンにして iSCSI ストレージを設定します。
<b>VLAN A 名 (VLAN A Name)</b>	プライマリ ファブリック インターコネクト (FI-A) で、iSCSI vNIC に関連付けられている VLAN の名前。

フィールド	説明
<b>VLAN A ID</b>	プライマリ ファブリック インターコネクト (FI-A) で、iSCSI vNIC に関連付けられている VLAN の ID。
<b>VLAN B 名 (VLAN B Name)</b>	下位のファブリック インターコネクト (FI-B) で、iSCSI vNIC に関連付けられている VLAN の名前。
<b>[VLAN B ID]</b>	下位のファブリック インターコネクト (FI-A) で、iSCSI vNIC に関連付けられている VLAN の ID。

- b) 以下のフィールドに記入して **FC ストレージ** を設定します。

フィールド	説明
<b>[FC ストレージの有効化]</b> チェックボックス	FC ストレージを有効にするには、チェックボックスをオンにします、
<b>[WWxN Pool]</b>	WW ノード名および WW ポート名の両方を含む WWN プール。それぞれのファブリック インターコネクトに対し、WWPN および WWNN 用の WWxN プールが作成されます。
<b>VSAN A 名 (VSAN A Name)</b>	プライマリ ファブリック インターコネクト (FI-A) の VSAN の名前。 デフォルト—hx-ext-storage-fc-a。
<b>VSAN A ID</b>	プライマリ ファブリック インターコネクト (FI-A) のネットワークに割り当てられた一意の ID。  <b>注意</b> UCS または Hyperflex システムで現在使用されている VSAN ID を入力しないでください。UCS ゾーニングを使用してインストーラで既存の VSAN ID を入力する場合、ゾーニングは VSAN ID の既存の環境で無効になります。
<b>[VSAN B Name]</b>	下位のファブリック インターコネクト (FI-B) の VSAN の名前。 デフォルト—hx-ext-storage-fc-b。



フィールド	説明
<b>VSAN B ID</b>	<p>下位のファブリック インターコネクト (FI-B) のネットワークに割り当てられた一意の ID。</p> <p><b>注意</b> UCS または Hyperflex システムで現在使用されている VSAN ID を入力しないでください。UCS ゾーニングを使用してインストーラで既存の VSAN ID を入力する場合、ゾーニングは VSAN ID の既存の環境で無効になります。</p>

**ステップ 6** [ハイパーバイザの設定 (Hypervisor Configuration) ] ページで、次のフィールドに入力します。

フィールド	説明	値の例
<b>[ベアメタルの設定 (Bare metal configuration) ]</b>		
[ハイパーバイザ (HYPER-V) のインストール (Install Hypervisor (Hyper-V) ) ]	デフォルトでは、ベア メタル ノードへの Windows OS のインストール用に [ハイパーバイザ (Hyper-V) のインストール (Install Hypervisor (Hyper-V)) ] チェックボックスが選択されています。[参照 (Browse) ] をクリックし、ISO ファイルを選択してアップロードします。または、ISO ファイルをそのエリアにドラッグアンドドロップします。	
[インストールするオペレーティングシステムの選択 (Select the operating system you want to install) ]	次のいずれかのオペレーティングシステムをインストールできます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• Windows Server 2016 Datacenter (デスクトップ エクスペリエンス)</li> <li>• Windows Server 2016 Datacenter (CORE)</li> <li>• Windows Server 2019 Datacenter (デスクトップ エクスペリエンス)</li> </ul>	
<b>共通ハイパーバイザ設定を行う</b>		
Subnet Mask	ハイパーバイザ ホスト管理ネットワークのサブネットマスク	255.255.255.0
Gateway	ハイパーバイザ ホスト管理ネットワークのデフォルトゲートウェイ	10.101.251.1

フィールド	説明	値の例
DNS サーバ	ハイパーバイザ ホストがメンバーを外れる AD の DNS サーバのカンマ区切りリスト。	10.99.2.200,10.992.201
<b>Hypervisor Settings</b>		
スタティック IP アドレス	各ホストの管理 IP アドレス  (注) チェックボックス [IP アドレスとホスト名を連続させる] のチェックをオンのままにする場合、インストーラが残りのサーバを最初から連続的に自動入力します。	10.101.251.41
Hostname	各ホストのホスト名	HX-Hypv-01

[ 続行 (Continue) ] をクリックします。

#### ステップ 7 HX Data Platform の展開

フィールド	説明	値の例
<b>ドメイン情報</b>		
ドメイン名 (Domain Name)	クラスタが含まれる Active Directory ドメイン。	contoso.com
HX サービスアカウント	プレインストール フェーズで作成された HX サービス アカウント。  <b>重要</b> Active Directory ポリシーによって、HX サービス アカウントが、 <b>smb</b> 名前空間用に作成されたコンピュータ オブジェクトでの「 <b>servicePrincipalName</b> の書き込み」の有効な権限を持つことを確認してください。	hxadmin

フィールド	説明	値の例
[パスワード (Password) ]	HX サービス アカウントのパスワード。	
<b>制限された委任</b>		
HX サービス アカウントとパスワード	制約付き委任 (Constrained Delegation) に必要です。	
HX サービス アカウントを使用します。	制約付き委任に HX サービス アカウントを使用します。ユーザは、ドメイン管理者である必要があります。	HX サービス アカウントが提供されている場合は、チェックボックスをクリックします。
制約付き委任 (Constrained Delegation) を今すぐ設定するか、または制約付き委任 (Constrained Delegation) を後から設定します	次のいずれかのチェックボックスを選択します。  制約付き委任 (Constrained Delegation) は、VM ライブ マイグレーションに必要です。制約付き委任を後で設定するには、 <a href="#">ライブ移行と VM ネットワークの静的 IP アドレスの設定</a> で説明している手順を使用します。	
<b>高度な属性 (Advanced Attributes) (オプション)</b>		
ドメイン コントローラ	インストールに具体的に使用するドメイン コントローラの FQDN。	dc.contoso.com
Organization Unit	インストール前の段階で作成した OU をここで使用できます。その後、OU は Active Directory 内の HX ノードのホームになります。	OU = HyperFlex, DC = contoso, DC = com
<b>ハイパーバイザのクレデンシャル</b>		

フィールド	説明	値の例
[ハイパーバイザローカル管理者ユーザ名 (Hypervisor Local Administrator User Name) ]	Hyper-V ホスト上のローカル管理者ユーザ名。	デフォルトのユーザ名/パスワード : administrator/Cisco123  <b>重要</b> システムは、デフォルトのパスワード [Cisco123] で出荷されますので、インストール中にこれを変更する必要があります。ユーザーが入力した新しいパスワードを指定しない限り、インストールを続行できません。

[Continue] をクリックします。

**ステップ 8** [IPアドレス (IP Addresses) ] ページで、次の表を使用して、このページのフィールドに入力します。

フィールド	説明	値の例
<b>Cisco HX Cluster</b>		
クラスタ名 (SMBアクセスポイント)	データストアの FQDN として使用するクラスタ名。	HX-EAP-01
レプリケーション ファクタ	HX ストレージクラスタ間での冗長データ レプリカの数を選択します。オプションは、2 または 3 です。これは、クラスタの作成後は変更できません。稼働ワークロードには 3 を推奨します。	3 (デフォルト値)
フェールオーバークラスタ名	Windows フェールオーバー クラスタのための名前。	
<b>Controller VM</b>		
Create Admin Password		
[管理者パスワードの確認 (Confirm Administrator Password) ]		
<b>System Services</b>		

フィールド	説明	値の例
DNS サーバ	DNS サーバのカンマ区切りリスト。	10.99.2.200、10.99.2.201
NTP サーバ (NTP Servers)	コントローラ VM は Windows Active Directory と同期している必要があるため、時間同期用の AD ドメイン コントローラを指す必要があります。	dc1.contoso.com、 dc2.contoso.com
DNS ドメイン名 (DNS Domain Name)	Active Directory のドメイン名。	contoso.com
タイムゾーン (Timezone)	HX コントローラがレポートで使用するタイムゾーン。	
<b>自動サポート</b>		
コネクテッドサービスの有効化	Cisco Support への HX クラスターのテレメトリ データの出荷の自動サポート。	
サービスチケットの送信先	シスコに送信されたチケットのコピーを受信する電子メールアドレスまたはエイリアス。	<i>email_address</i>
<b>高度なネットワーキング</b>		
管理VLANタグ	管理ネットワークに使用される VLAN ID。これは、前の管理ネットワークのインストールプロセスで使用したものと同じである必要があります。	
データ VLAN タグ	管理ネットワークに使用される VLAN。これは、前のデータネットワークのインストールプロセスで使用したものと同じである必要があります。	
<b>高度な設定</b>		

フィールド	説明	値の例
データ ネットワーク上でジャンボ フレームの有効化	<p>ホスト vSwitch と vNIC、および各ストレージコントローラ VM のストレージデータネットワークの MTU サイズを設定します。デフォルト値は 9000 です。</p> <p>ジャンボ フレームがストレージ VM に接続されたリンク上で動作していることを確認してください。</p>	
ディスク パーティション	<p>ストレージクラスタに追加されたすべてのノードから既存のデータおよびパーティションをすべて削除します。保持する必要があるデータは、バックアップする必要があります。既存のデータおよびパーティションを削除するには、このオプションを選択します。</p> <p>これは、手動で準備されたサーバ用です。工場で準備されたシステムにはこのオプションを選択しないでください。工場で準備されたシステムのディスク パーティションは正しく設定されています。</p>	
[VDI]	<p>VDI のみの環境を設定します。ストレージクラスタの作成後に VDI 設定を変更するには、リソースをシャットダウンまたは移動し、変更を加え、クラスタを再起動します。</p>	
<b>Hypervisor Settings</b>		
プライマリ DNS サフィックス	インストール前の手順で完了します。	

フィールド	説明	値の例
追加の DNS サフィックス	Hyper-V ホストにサフィックスを追加する必要がある場合は、このフィールドに入力します。	

このページの各フィールドの入力例として、下の図を参照してください。

The screenshot displays the Cisco HX Cluster configuration interface. The main configuration area is divided into several sections:

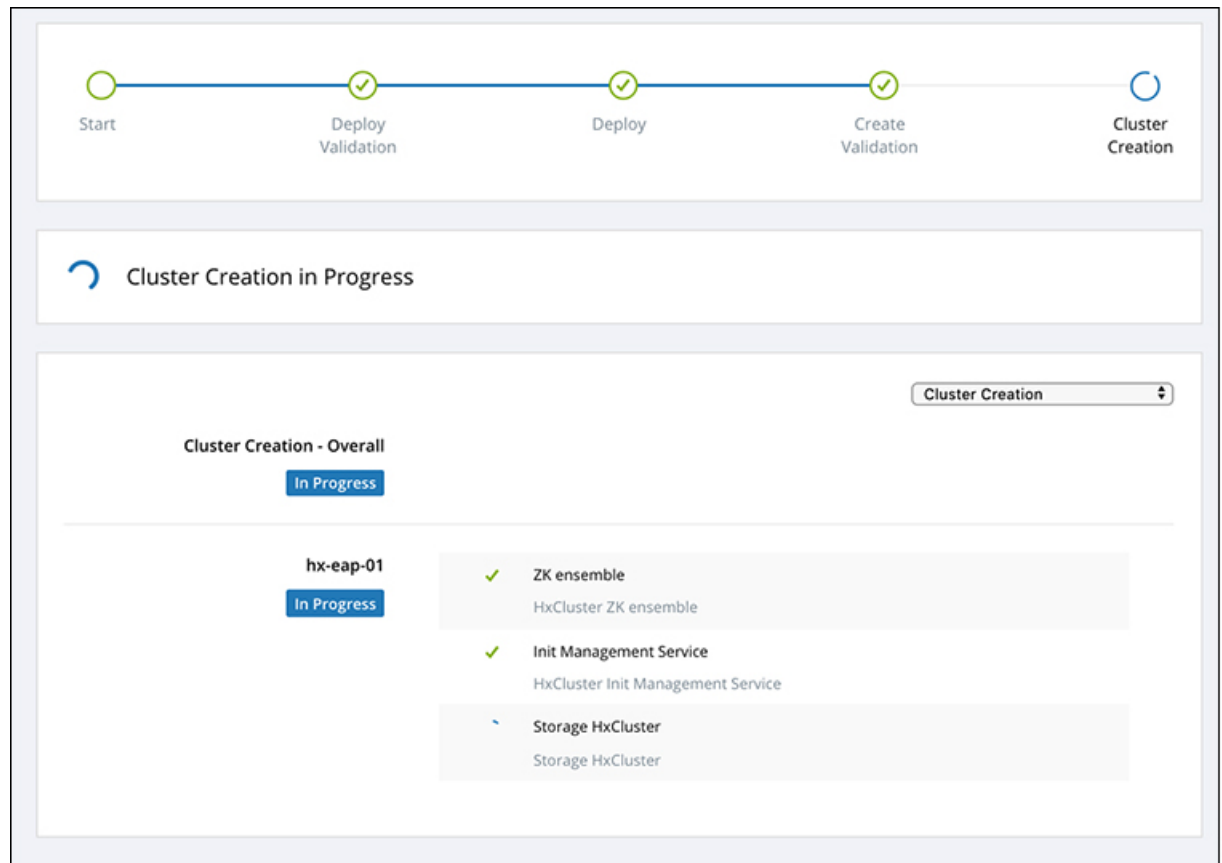
- Cluster Name (SMB Access Point):** hx-eap-01
- Replication Factor:** 3
- Failover Cluster Name:** HX-EAP-CLU01
- Controller VM:** Create Admin Password and Confirm Admin Password fields are present.
- System Services:**
  - DNS Server(s):** 10.99.2.200,10.99.2.201
  - NTP Server(s):** Cicolab.dk
  - DNS Domain Name:** cicolab.dk
  - Time Zone:** (UTC+01:00) Brussels, Copenhagen, Madrid, Paris
- Auto Support:**
  - Auto Support:**  Enable Connected Services (Recommended)
  - Send service ticket notifications to:** lagranbe@cisco.com
- Advanced Networking:**
  - Management VLAN Tag:** 2996
  - Management vSwitch:** vswitch-hx-inband-mgmt
  - Data VLAN Tag:** 2997
  - Data vSwitch:** vswitch-hx-storage-data
- Advanced Configuration:**
  - Jumbo Frames:**  Enable Jumbo Frames on Data Network
  - Disk Partitions:**  Clean up disk partitions
  - Virtual Desktop (VDI):**  Optimize for VDI only deployment

The right-hand sidebar shows the **Configuration** summary:

- Credentials:**
  - Domain Name: Cicolab.dk
  - HX Service Account: hxadmin
  - Time Zone: Romance Standard Time
  - Local Administrator User Name: Administrator
- IP Addresses:**
  - Cluster Name (SMB Access Point): hx-eap-01
  - Management Cluster: HX-EAP-01-MGMT
  - Data Cluster: 10.101.252.50
  - Management Subnet Mask: 255.255.255.0
  - Data Subnet Mask: 255.255.255.0
  - Management Gateway: 10.101.251.1
  - Data Gateway: 10.101.252.1
- Server 0:**
  - Management Hypervisor: HX-EAP-1.Cicolab.dk
  - Management Storage Controller: HX-EAP-1-CNTL.Cicolab.dk
  - Data Hypervisor: 10.101.252.41
  - Data Storage Controller: 10.101.252.51
- Server 1:**
  - Management Hypervisor: HX-EAP-2.Cicolab.dk
  - Management Storage Controller: HX-EAP-2-CNTL.Cicolab.dk
  - Data Hypervisor: 10.101.252.42
  - Data Storage Controller: 10.101.252.52
- Server 2:**
  - Management Hypervisor: HX-EAP-3.Cicolab.dk
  - Management Storage: HX-EAP-3-

At the bottom of the sidebar, there are **Back** and **Start** buttons.

**ステップ 9** [Start] をクリックして、導入を開始します。[進行状況 (Progress)] ページには、構成タスクの進行状況が表示されます。開始、展開の検証、展開、検証の作成、クラスタの作成。



306613

## ベストプラクティス

Microsoft Hyper-V インストールを使用した Cisco HyperFlex の一般的なベストプラクティスを次に示します。

- Cisco HyperFlex に関しては、Windows システムの更新をアウトオブバンドで実行しないでください。
- Windows Update (WU) の動作を設定するためにグループポリシー設定を使用している場合は、Cisco HyperFlex によって設定されたデフォルト設定を上書きしないようにしてください。更新を自動的にダウンロードし、スケジュールにインストールするように指定するポリシーを設定しないでください。



(注) デフォルトでは、Cisco HyperFlex は自動更新を無効にします。AU オプションの値は **2** に設定されています：ダウンロードとインストールの通知。Windows update の設定の詳細については、「[Windows 更新設定の管理](#)」を参照してください。